

令和3年度



学校だより
5月号

令和3年4月30日

かわかみ

横浜市立川上小学校

横浜市戸塚区秋葉町203-2 電話 811-9345 FAX811-5961

言葉と笑顔とやさしさをつなぐ

学校長 堀部 尚久

若葉のやわらかい緑とさわやかな風が、私たちの心を和ませてくれています。新年度が始まり、早ひと月が経とうとしています。子どもたちは、新しい教室で、新しい先生や友達とともに、学年テーマをもとにして学級目標を決めたり、学習や生活の約束事確かめたりしながら、それぞれの学年・学級での学びづくり、生活づくりに向き合っています。

1年生が学校探検で校内を楽しそうに巡りながら、6年生にプレゼントされた先生紹介マップを指さして説明する姿からは、学校にずいぶん慣れてきたことがうかがえます。登校のときにも、マスク越しにもかかわらず、元気な挨拶が返ってきます。なかには足を止めて、丁寧に頭を下げ「おはようございます。」と挨拶をしてくれる子どもや、「昨日は公園でみんなと遊んだよ。」と、にこやかに話しかけてくれる子どももいます。上学年の仲間入りをした子どもたちも、学校生活をよりよくしようという意識の下に、それぞれの学年に見合うリーダーシップ発揮しようとする姿も少しずつ見られるようになってきました。

4月の朝会では、この1年間の学校生活を送るに当たって、「かがやく わたし かがやく みんな」という川上小学校が目指している学校の姿について子どもたちに話しました。すると次の週には、運営委員会の子どもたちが原案を練り、代表委員会で、「つなごう 言葉と笑顔とやさしさを みんなかがやけ130」という児童会のテーマが決まったと聞きました。「言葉を通したコミュニケーション」、「笑顔あふれる学校」、そして「思いやりの心」の三者を繋ぐことによって、みんなが輝ける1年にしたいという子どもたちのメッセージが込められた児童会テーマです。児童会テーマの日常化を目指し、これから運営委員会の子どもたちを中心に、様々な取組が進められます。この1年、子どもたちが、「言葉」と「笑顔」と「やさしさ」をどのような場面で、どのように繋ごうとしていくか楽しみです。毎年のように、こうした話し合いや具体的な取組に向き合う子どもたちの姿から、「友達、仲間づくりを大事にしたい」という強い気持ちを感じられることは、本当に嬉しい限りです。

その一方で子どもたちの日常生活ではトラブルもあり、それが高じるといじめに繋がりがねないということも事実です。私たち教職員は、「いじめは最も身近で深刻な人権侵害である」という認識を常に共有し、これからも、いじめの「未然防止」「早期発見」「早期解決」はもとより、子どもたちにとって安全・安心な居場所となる学校づくりに努めます。

「仲間づくり」が大事なこの時期、学校では、本年度の「縦割りグループづくり」を終え、いよいよ5月から縦割りグループの活動も始まります。6年生のリーダーシップの下に、グループのめあてや、運動会での取組などについて話し合いながら、活動を通して仲間づくりを進めていきます。子どもたちのなかには、リーダーの役が苦手な子どももいますが、本校の縦割りグループ活動では、卒業までにリーダーやサブリーダーとしての立場や役割を経験することになります。下学年の世話や面倒をみることでは、時には困ることもあります。当然トラブルも少なからず生じます。しかし、そうした経験を通して、多様な人とかかわり方を学ぶことにもなります。また、下学年の子どもは、「自分も6年生になったらリーダーとして頑張りたい」という思いをもち、上学年の背中を見てその動きや役割を身に付けていくことにもなります。そう考えると、学校での異学年グループでの活動は、教育の場における取組としての必然があります。

「言葉」と「笑顔」と「やさしさ」が、学びや生活の中で繋がり、紡がれていくことで、「みんなかがやく130周年」の節目の年における学校づくりが実現します。まずは運動会、どのような輝く姿が見られるか期待は膨らみます。縦割りグループでの活動を通して、確かに成長していく子どもたちの姿が見られるよう、引き続き教育活動の充実に努めていきたいと思えます。